



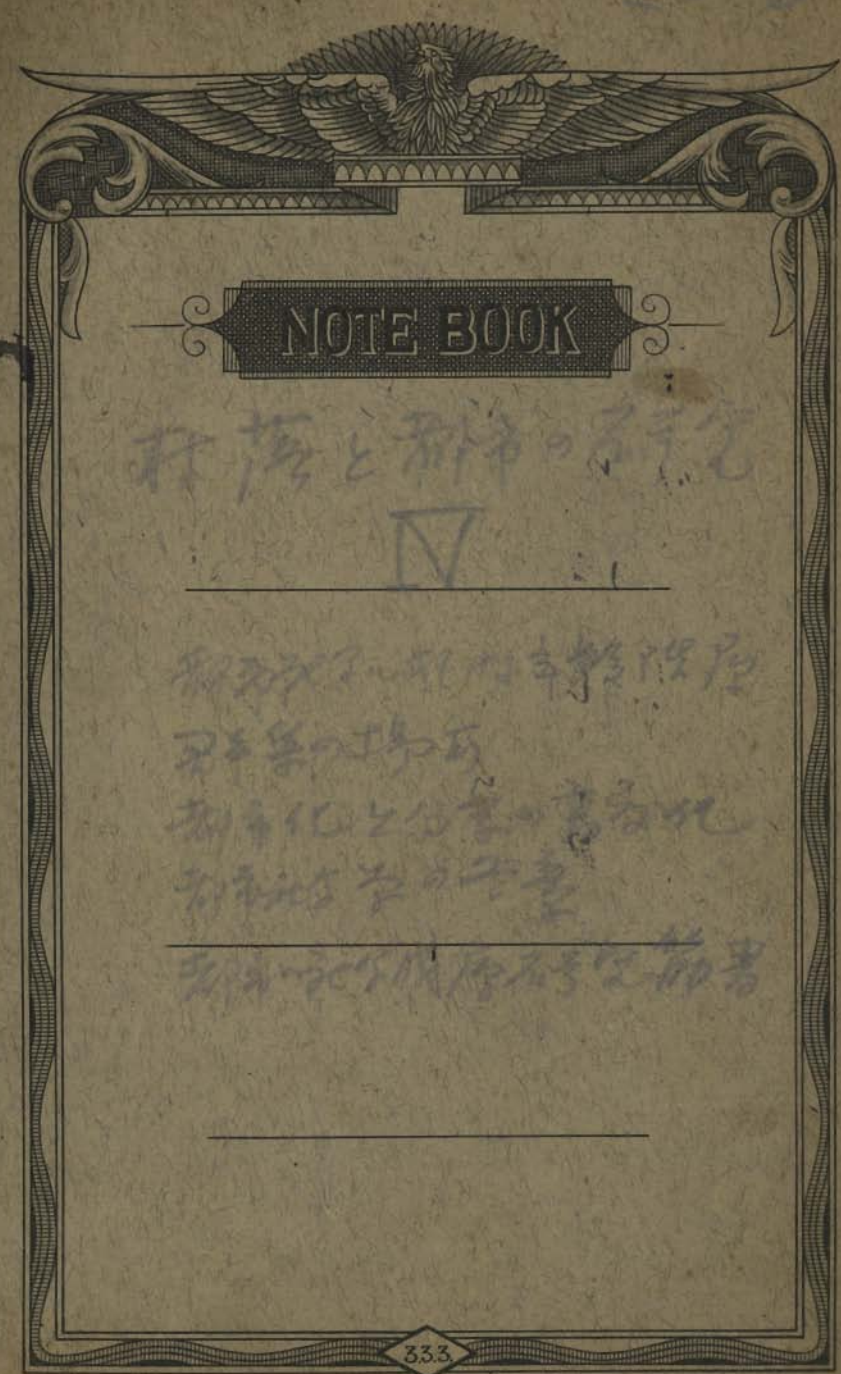
HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	村落と都市の研究Ⅳ
Author(s)	鈴木, 栄太郎
Issue Date	1966
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/77302
Type	manuscript
File Information	K019_015.pdf



新市研究 分

28



NOTE BOOK

村落と都市の研究

IV

都市化の歴史
都市化の地理
都市化の経済
都市化の社会
都市化の文化
都市化の政治

I

新市記
卷之四

原
文
卷
四
二〇一五〇才
年
終
序

宋様より、
 言一考才原にうい。開 P.279
 人江流知破ふし、
 此果山也階層
 にも一いあう。都市文化施設
 元えとし、
 故に此階層を固あし、
 成多未婚者階層は都市化
 形であう固りあう。常
 の火の手をあら、
 りも、
 厚い。

都市の娯楽の文藝は皆青年時代
 以来の嗜好と対する。花柳界、カ
 ンパ、ダンス、マール、恐らく
 以上

[illegible]

①

C. P. Loomis: Rural Social

Systems. pp. 217-221

記 2 本 同

pp. 222-225

と p. 226

ニ 一 人 中 コ の エ ン じ ン だ け
お 民 の 同 様 自 然 五 文
P. 690

②

C. C. Taylor and others: —
Rural Life in the U. S.

pp. 79-83-

丁

都市の地理と地理の地理

大甲の都市田舎の農村群

の 区 別 Hamlet Village Town

City の 区 別

大甲の都市機能の区別

何れがより残存するか

①

②

② II

大 群 集 会 の 場 所

都市において多量の人の集まる場所を
いふのである。群集形成のモメントを
たゞしである。因るに各々には

一、映画演劇場、球場、競輪競馬場

二、デパート

三、商店（百貨店）細工場（
作場）

四、公園

職場、学校

五、神社、佛閣、教室

六、商店街、マーケット等の街上

七、停車場、停留場、港、山

八、郵便局、役所、救急室、職安、工務

[illegible]

死とは何れのときか、即ち

葬儀はこの墨田の所に毎日忙しく

あやましている。病人は墨田の所に

病院は多岐病人に、満ちてしまふ。

キヤンデーで、家通する人ばかり

のは多岐である。

多くの墨田は、大衆的現象として一定の

固定した傾向をあらわしているが、それを

常の生活と混同してはならぬ。

総ての集合の点では、総ての市内住民

に開放されたものである、その点を

利用するようには、市民の中の大半の

とあるや
せしる。市街の乙等生活は縣境
と世帯の二つの場所においてあると
いふのである。

都市化と分業の高度化

一、事業の内部に於ける分業

一、都市内生産者の分業

一、階層化

一、消費生活における分業

に趣味娯楽の分業

に教養の分業

リ
「都市の内に在り、集團に属す」
調査研究

調査トビツケ

「本に在るべきもの本意の企及」

「大企業との提携」

「高層ビル」

「中層ビル」

「小企業、小商店の都市化」

「都市の発展と都市の土地利用」

「都市の発展と都市の土地利用」

結論 都市の発展と土地利用

「都市の発展と土地利用」

「都市の発展と土地利用」

「都市の発展と土地利用」

「都市の発展と土地利用」

「都市の発展と土地利用」

「都市の発展と土地利用」

「都市の発展と土地利用」

「都市の発展と土地利用」

「都市の発展と土地利用」

調査研究

「都市の発展と土地利用」

「都市の発展と土地利用」

「都市の発展と土地利用」

「都市の発展と土地利用」

「都市の発展と土地利用」

「都市の発展と土地利用」

「都市の発展と土地利用」

「都市の発展と土地利用」

「都市の発展と土地利用」

「都市の発展と土地利用」

「都市の発展と土地利用」

正副委員長

正副委員長

正副委員長

正副委員長

正副委員長

正副委員長

正副委員長

正副委員長

正副委員長

正副委員長

正副委員長

正副委員長

正副委員長

正副委員長

正副委員長

正副委員長

正副委員長

正副委員長

正副委員長

正副委員長

正副委員長

正副委員長

正副委員長

正副委員長

正副委員長

都市任氏の都市任氏何世代何方のうゑと
都市任氏の世帯増成し

[illegible]

「サ」ヒス業の内容、その利用を詳し

昔年未だ若くは相年か、黄甲のいふて
 近づきねないもの、それか既に五壯年
 との近に於所。待合の如し。それはとて
 か、可実利用するもの、洞也。
 大衆娯樂を、高知娯樂
 昔年娯樂を、壯年娯樂と老年娯樂

戰功北原公隆。破定ウカ。戰功部統年表の調を。

都市住民の田舎生活

己書市人の物令
田書市人の物令

N
職は、その官の始末力の端さには職然
を執するもの不執るより来。職ゆえに
神の力によりは勤能く教の力か長う
しと定むる也。

○ 都市の統一性
水都方の人々
甘んじ校
お探り名
は、
多岐

P 都市地域の
 構造と成層の
 研究

見 地價と市域

都市に於ける独身男子の生活
を、住宅、職場、余暇の生活、
独身を目的とする機同（娯楽、交友、その他）
都市文化は独身を本位文化か。

都市の形成。研究の部

一、大工場の可待階層。職階の定人を構成

a. 道戸

b. 大倉元 (振銀)

c. 大工場 (帝府)

一、各社の比較

如右、勤年長、年齢より各社
各社の同高左の決定
イ可待階層より比較

ハ各社の各社相互に移動のより例による。

同高左の決定 高田階層 19

一、大工場の可待階層の構成

一、労働組合の成立と形成決定

基盤と各社の各社より例による。

一、労働組合の成立と形成決定

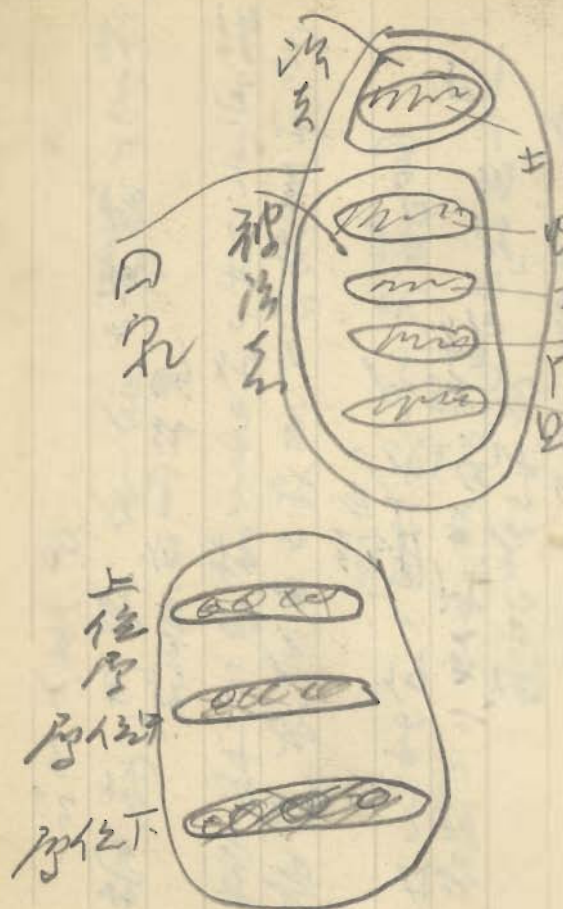
治人委員

四定水第

此乃巨富之家一交始好

成厚
新下僅用人板

明治は、ある政治の二階梯。士農工商
 封建の政治の全七士を政治の中心に
 政治の階梯を、上、中、下、上、中、下、
 封建の政治の階梯を、上、中、下、上、
 封建の政治の階梯を、上、中、下、上、
 封建の政治の階梯を、上、中、下、上、

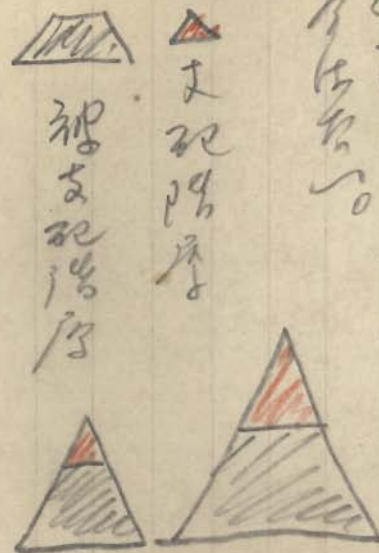


分身

一、支那の字と、^{支那}支那支那の二層に
区別す。線の竹、^{支那}支那の二層に
の本質的拍果の確證、^{支那}二の二層に
と、^{支那}支那の二層に、^{支那}支那の二層に
違ひない、^{支那}支那の二層に

[illegible][illegible]

層を全て合併の統一の活動方向は
 支配階層に有利な方向である。此等
 構成の秩序を維持する目的は活動の
 円滑を謀るに在り。故に
 階級の成層の統一は口實大に存す。
 口實の他、其の裏面には同様の階層
 構造をもつて居る。あつては階層
 的階級大のときも。然し支配階級の
 裏面は異なる。



裏面は異なるA

B

C

この人々を支配する階層はBに在る。
 然しBの支配階層を支配する階層はAに在る。